

第3章 大地に根ざしたたくましい 産業が躍動するまち

第1節 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる

第2節 自然を活かした産業の育成

第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち

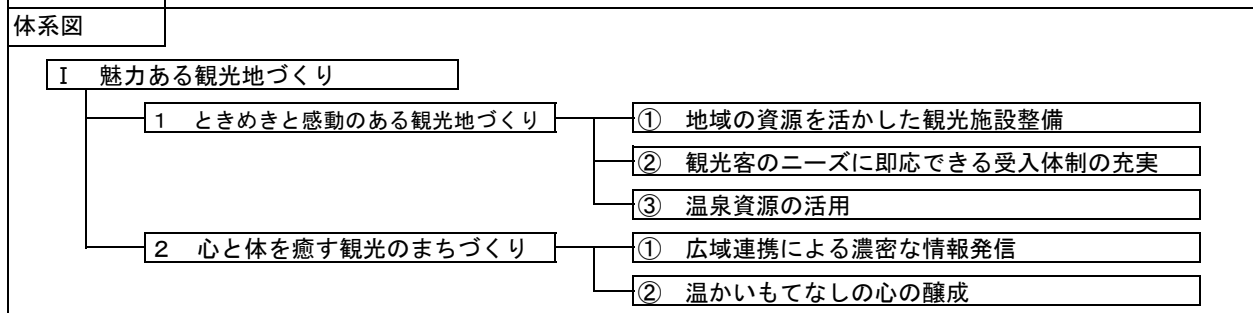
基本目標	第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	市民満足度（章単位）	満足・普通 65.1%	不満 28.3%
政策	第1節 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	市民ニーズ（政策）	3/18	

成果

案内機能の多言語化や観光案内の広域化に努めるとともに、登別観光を広く情報発信して誘客促進を図るなど、魅力ある観光地づくりに取り組んだ。また、登別ブランド推奨制度を創設し、特産品の開発や販売促進、販路開拓を進め、地域産業の活性化を図ったほか、キャリアカウンセラーを設置し、就職活動等で不安を抱える若者を支援するなど、生涯を通して安心して働ける環境づくりを進めた。

基本目標に対する市民満足度は、「満足・普通」と回答した方の割合が6割強であり、政策展開の一定の成果が見られる。

施策 I 魅力ある観光地づくり



【目標】

豊かな温泉に加え、自然、農業、漁業、文化、スポーツなどの地域資源を活用した魅力ある観光地を目指すほか、周辺地域と連携し新しい観光の形を確立させる。

市民満足度（施策単位）	市民ニーズ（章内）
満足・普通 76.6%	不満 21.9%
3/5	

●目標への接近度を計る指標

目標への接近度を計る指標等	単位	基準値H16	実績値H17	実績値H18	実績値H19	実績値H20	実績値H21	実績値H22	実績値H23	実績値H24	実績値H25	実績値H26	実績値H27	目標値H27
指標1 観光客数（年間）	万人	320	308	309	330	306	302	304	266	284	335	354	391	332
指標2 宿泊延数（年間）	万人	140	135	131	130	129	116	116	106	110	121	121	128	146
指標3 温泉宿泊率（年間）	%	43.75	43.95	42.39	33.39	42.10	38.08	観光ニーズが変化していることから変更						-
指標4 連泊率	%	0.5	-	-	-	-	0.7	0.7	0.4	0.6	1.0	0.8	0.8	24.7
指標5 2日以上宿泊をする観光客数（年間）	万人	1.0	0.7	0.6	0.5	1.2	0.9	観光ニーズが変化していることから変更						-
指標6 外国人観光客宿泊延数	千人	132	-	-	-	-	177	222	154	211	315	372	470	325

●目標到達に向けた取組及び成果

国立公園内の施設の維持管理や案内機能の多言語化、西胆振地域等を含めた観光案内の広域化に努めるとともに、ポスターやパンフレットを作成し、登別観光を広く情報発信するなど誘客の促進を図った。また、インフォメーションプラザや観光ボランティアガイドの活動を支援するなど、おもてなしの心の醸成を図り、魅力ある観光地づくりに取り組んだ。

観光客数及び外国人観光客宿泊延数については、一時的な減少はあったものの、増加傾向に転じ目標値を達成したことなどから、取組の成果があらわれたものと考えており、今後も継続して魅力ある観光地づくりに努め、誘客の促進に取り組む。

●まちづくり意識調査からの分析

総体的には「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が、「不満」「やや不満」と回答した方の割合を上回っている。

性別では女性のほうが男性に比べ「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が高く、年代別では「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合はどの年代でも約7～8割と高く、多くの方が概ね満足していると考えられる。

●施策の基本的な方向

1 <ときめきと感動のある観光地づくり>

●主要な施策

【① 地域の資源を活かした観光施設整備】

自然探勝のできる遊歩道の整備や、カルルス温泉サンライバスキー場の適正な維持管理を行い、観光客の安全確保に努めた。

【主な観光施設整備の実績】

- ・奥の湯展望台修繕
- ・大湯沼川探勝歩道修繕
- ・舟見山遊歩道修繕
- ・大湯沼駐車場トイレ改修
- ・地獄谷木道修繕
- ・カルルススキー場便所、ロッジ修繕 他



【② 観光客のニーズに即応できる受入体制の充実】

日本人及び外国人観光客への案内業務や、地獄谷を中心とする国立公園内の清掃活動など、受入環境の整備に取り組んだ。

【インフォメーションプラザ事業補助金】

外国人を含む登別を訪れる観光客に安心して楽しく旅行してもらうため、登別観光協会が行うインフォメーションプラザ事業に対して支援を行うもの。

【インフォメーションプラザ利用者数の実績】

- 平成21年度：21,239人
- 平成22年度：21,471人
- 平成23年度：20,397人
- 平成24年度：16,984人
- 平成25年度：16,606人
- 平成26年度：19,107人
- 平成27年度：16,366人



【③ 温泉資源の活用】

上登別地区への温泉供給事業を行うとともに、大湯沼川下流の天然足湯や周辺遊歩道の整備を行い、温泉資源の利用促進を図った。

【温泉供給の実績】

- 平成18年度：営業用3件、一般用25件
- 平成19年度：営業用3件、一般用25件
- 平成20年度：営業用4件、一般用27件
- 平成21年度：営業用4件、一般用27件
- 平成22年度：営業用4件、一般用27件
- 平成23年度：営業用4件、一般用27件
- 平成24年度：営業用4件、一般用27件
- 平成25年度：営業用4件、一般用27件
- 平成26年度：営業用4件、一般用27件
- 平成27年度：営業用3件、一般用26件



●施策の基本的な方向

2 <心と体を癒す観光のまちづくり>

●主要な施策

【① 広域連携による濃密な情報発信】

日本人及び外国人観光客向けのパンフレット等の作成や、広域連携による情報発信や誘客活動を行った。

【外国人観光客向けパンフレットの作成】

日本語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、英語、タイ語

【北海道登別洞爺広域観光圏協議会による広域連携の取組実績】

- ・パブリシティ発信事業
- ・観光利用に配慮した二次交通事業
- ・東南アジア、東アジアプロモーション事業
- ・MICE対応事業
- ・国内プロモーション事業
- ・市場等調査事業 他



【② 温かいもてなしの心の醸成】

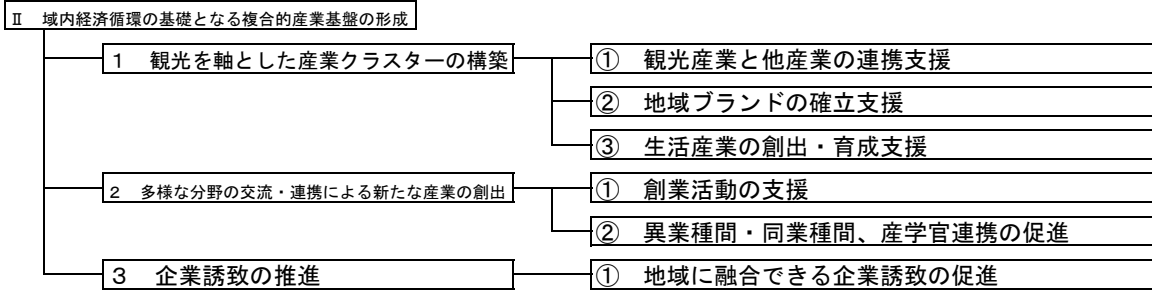
観光地「登別温泉」の玄関口である道道2号線沿いの桜並木の維持管理や観光ボランティアガイドの活動を支援するなど、観光客を温かく迎える環境づくりを行うとともに、地獄まつりへの市民の参加等を通して、登別観光に対する市民意識の高揚を図った。

【観光ボランティアガイドのガイド実績数】

- 平成24年度：4,655人
- 平成25年度：3,825人
- 平成26年度：3,309人
- 平成27年度：5,064人



基本目標	第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	市民満足度（章単位）	満足・普通 65.1%	不満 28.3%
政策	第1節 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	市民ニーズ（政策）	3/18	
施策	Ⅱ 域内経済循環の基礎となる複合的産業基盤の形成			
体系図				



【目標】

観光産業を軸に複合的産業基盤を形成し、域内の経済循環を構築する。

市民満足度（施策単位）	市民ニーズ（章内）
満足・普通 65.7%	不満 31.7%
4/5	

●目標への接近度を計る指標

目標への接近度を計る指標等	単位	基準値H16	実績値H17	実績値H18	実績値H19	実績値H20	実績値H21	実績値H22	実績値H23	実績値H24	実績値H25	実績値H26	実績値H27	目標値H27
指標1 起業件数	社	20	16	26	8	0	19	8	17	14	18	13	18	20
指標2 登別市起業化支援事業申請件数	件	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	-	5
指標3 特産物開発件数	件	1	1	3	3	1	0	0	0	7	9	7	11	3

●目標到達に向けた取組及び成果

観光を核とした他産業との連携を支援し新たな産業の創出に努めるとともに、登別ブランド推奨制度を創設し、特産品の開発や販売促進、販路開拓を進めるなど、地域産業の活性化に取り組んだ。
また、産業基盤を形成し、域内の経済循環の構築のため、起業支援やモノづくり支援、企業誘致に努めた。
各指標については、特産物開発件数を除き目標に到達していないものの、起業件数は一定の件数を確保しているなど、成果が見られる。

●まちづくり意識調査からの分析

総体的には「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が、「不満」「やや不満」と回答した方の割合を上回っている。
性別では女性のほうが男性に比べ「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が高く、年代別では「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合はどの年代も6割を超えており、多くの方が概ね満足していると考えられる。

●施策の基本的な方向

1 <観光を軸とした産業クラスターの構築>

●主要な施策

【① 観光産業と他産業の連携支援】

産業クラスターの形成を構築するため各種協議会や関係団体等と連携を図り、各種ビジネスモデル（事業計画）の事業化に向けて取組を支援した。

【主なビジネスモデル】

- ・体験型、選択型、保養型、長期滞在型などの新しい観光モデルの構築
- ・350万人の観光客を地場に引き入れるためのサービスの充実と多様化
- ・コミュニティビジネスなど新たな産業の創出や農水産、環境、健康、福祉、医療、文化、歴史などの分野と連携した新たな産業の創出

【② 地域ブランドの確立支援】

平成21年度から開始した登別ブランド推奨制度を通して、登別を代表する商品を推奨品として認定し、その宣伝や販売促進、販路開拓に向けて重点的に支援を行うことにより優良商品の製造・開発を助長するとともに、平成26年度に開発されたご当地グルメ「登別閻魔やきそば」の普及促進を図り、市内各地の飲食店等への誘客及び地場産品の活用を促進する登別ブランド推進協議会の取組を支援した。

【登別ブランド認定商品数】

平成21年度～平成27年度認定商品 28商品

【登別閻魔やきそば提供店舗数】

平成27年度 32店舗



【③ 生活産業の創出・育成支援】

日常生活での課題や問題を解決していく過程から生まれる様々なサービスや商品などを基にする生活産業の創出を図るため、事業化に向けた共同開発等の取組を推進した。

【主な登別市・白老町生活関連産業事業化推進協議会での取組】

- ・地域資源の整理、発掘
- ・地域資源のデータベース化及び観光情報のネットワーク化
- ・コンシェルジュを活用したモニターツアー等の実証実験
- ・事業化計画の策定

●施策の基本的な方向

2 <多様な分野の交流・連携による新たな産業の創出>

●主要な施策

【① 創業活動の支援】

市内における起業や創業、新技術の創出を促進し、地域の活性化や賑わいの創出を図るため、空き店舗の活用等に対する補助を行うことにより、創業活動を支援した。

【起業化補助金交付件数】

地域の資源や技術を活用した新たな地場産業の創出、新たな技術の事業化、新たなサービスの提供等を行う場合に要する経費の一部を補助するもの。

平成26年度まで 1件（平成26年度をもって廃止）

【空き店舗活用事業補助金交付件数】

市内において空き店舗になってから3カ月以上経過している店舗を利用して事業を行う者に対し、店舗賃借料の一部を補助する。

平成23年度～平成27年度まで 18件

【事業所開設費補助金】

市内において新たに事業活動を行う者に対し、事業所を開設する際に要する建物の新築・改造・改装等に係る経費の一部を補助する。

平成27年度 10件

【② 異業種間・同業種間、産学官連携の促進】

市内企業の連携や異業種間の交流を促すとともに、札幌のぼりべつ会の会員企業と市内企業の経済交流を図った。

【新製品・新技術開発の芽育成支援事業及び商品化推進支援事業の申請件数】

室蘭テクノセンターが行う「ものづくり創出支援事業」を通じ、市内における新製品、新技術の創出や市場開拓に向けた活動を支援するもの。

平成18年度～平成27年度まで 35件

●施策の基本的な方向

3 <企業誘致の推進>

●主要な施策

【① 地域に融合できる企業誘致の促進】

これまで進出した製造業や先端産業などのほか、地域に融合し定着できる広範な企業の誘致を図った。

【企業立地振興補助金】

市内に事業所を設置するものに対し、当該施設及び土地に係る固定資産税等の免除及び雇用増に伴う助成措置を行うもの。

平成27年度まで 2件 雇用人数 17人

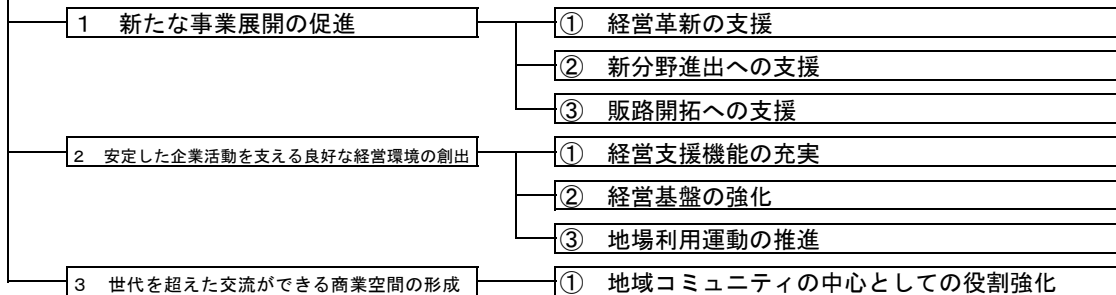
【企業立地動向調査事業】

4,016社中、有効回答2,894件

訪問可能回答数 19社 うち7社に訪問

基本目標	第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	市民満足度（章単位）	満足・普通 65.1%	不満 28.3%
政策	第1節 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	市民ニーズ（政策）	3/18	
施策	Ⅲ 活力ある地場企業の育成			
体系図				

Ⅲ 活力ある地場企業の育成



【目標】

地場企業の経営体質の改善、経営基盤の強化、経営の多角化、業種転換等を支援し、活力ある地場企業を育成する。

市民満足度（施策単位）	市民ニーズ（章内）
満足・普通 66.1%	不満 31.4%
2/5	

●目標への接近度を計る指標

目標への接近度を計る指標等	単位	基準値H16	実績値H17	実績値H18	実績値H19	実績値H20	実績値H21	実績値H22	実績値H23	実績値H24	実績値H25	実績値H26	実績値H27	目標値H27
指標1 商業販売額（卸・小売販売額）	千円	62,912,920	62,912,920	62,912,920	62,426,160	56,822,020	56,822,020	-	-	39,297,000	-	49,898,000	-	70,000,000
指標2 製造品出荷額等	千円	15,702,890	14,999,570	14,999,570	14,039,210	13,907,480	13,984,580	16,660,440	14,815,870	15,369,010	15,330,290	15,877,410	-	17,500,000
指標3 融資制度（設備資金）利用件数	件	1	0	1	3	0	0	0	0	3	1	5	9	5
指標4 登別市新産業創造活動事業申請件数	件	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	3
指標5 法人市民税納付対象企業数	社	1,003	986	972	978	977	980	977	937	926	916	907	898	1,100

●目標到達に向けた取組及び成果

新技術や新製品、新サービスの研究・開発を行う団体への補助や各種物産展参加に係る補助を行った。また、良好な経営環境の創出のため、中小企業の相談窓口の確保や各種融資制度を構築するとともに、商店街活性化に係るイベントや空き店舗解消のための活用に対し補助するなどの支援を行った。
各指標については、長引く景気の低迷などにより目標を達成していないものの、販路開拓のための商談会展や空き店舗活用に係る補助金の利用が増加するなどの成果が見られることから、粘り強く施策展開する。

●まちづくり意識調査からの分析

総体的には「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が、「不満」「やや不満」と回答した方の割合を上回っている。
性別では女性のほうが男性に比べ「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が高く、年代別では20歳代の「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が8割を超えているほか、他の年代も「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合は6割を超え、多くの方が概ね満足していると考えられる。

●施策の基本的な方向

1 <新たな事業展開の促進>

●主要な施策

【① 経営革新の支援】

新技術・新製品等の創出や、市内中小企業者が行うものづくりに対する支援を行い、中小企業の経営革新や新たなビジネスの事業化に対する取組を支援した。
【ものづくり創出支援事業補助金交付額】
平成18年度から平成27年度まで 50件 20,903千円

【② 新分野進出への支援】

地域資源や技術を活用した地場産品の創出や新たな技術の事業化、新たなサービスの提供等の新たな分野に進出する取組を支援するとともに、CO2の削減と地域経済の活性化等につながる具体的な効果が見込まれる事業を支援し、環境と成長が両立する低炭素化社会の実現を図った。

【住宅用太陽光発電システム設置補助金実績】

平成25年度まで 件数12件 交付額2,121千円
総受注額24,751千円 ライセンス取得業者10社

【③ 販路開拓への支援】

商談会等への参加を支援することにより、ビジネスチャンス（事業機会）の拡大を図った。

また、札幌圏の経済関係者との情報交換を通して市内企業等とのネットワークを構築し、地場企業のビジネスチャンスの拡大を図った。

【商談会等出展補助実績】

平成27年度 6件

【札幌のぼりべつ交流プラザ実績】

平成27年度まで 延べ参加人数 453名



●施策の基本的な方向

2<安定した企業活動を支える良好な経営環境の創出>

●主要な施策

【① 経営支援機能の充実】

中小企業に低利の融資を行い、中小企業等の積極的かつ円滑な事業活動を支援するとともに、市内商工業者を対象とした経営相談機会を確保することにより、地場企業の発展と経営の安定に寄与した。

【中小企業相談事業に係る金融のあっせん】

平成27年度まで 690件 8,042,242千円

【② 経営基盤の強化】

運転・設備資金を低利で融資することにより、企業体質強化と安定した基盤づくりを支援するとともに、市内の建設業者等を利用して住宅改良を行う市民を対象に低利な融資を行うことにより、市内産業の受注機会の拡大に寄与した。

【中小企業特別融資利用実績】

平成27年度まで 31件 186,150千円

【住宅改良促進特別融資利用実績】

平成27年度まで 16件 27,100千円

【③ 地場利用運動の推進】

購買力の市外流出を歯止めし、地場産業間における経済循環を向上させるため、商工業者や関係機関との連携を図りながら、地場での購買・消費を促す地場利用運動を推進した。

【プレミアム商品券・建設券発行事業】

平成27年度まで 商品券発行額面 9億2,000万円
建設券発行額面 3億円

●施策の基本的な方向

3<世代を超えた交流ができる商業空間の形成>

●主要な施策

【① 地域コミュニティの中心としての役割強化】

商店街が地域コミュニティの中心となるための取組を支援するとともに、地域に根ざした商店街づくりを進めるため、商店街が取り組む住民のニーズに対応した事業を支援した。

【空き店舗活用事業補助金交付件数】

市内において空き店舗になってから3か月以上経過している店舗を利用して事業を行う者に対し、店舗賃借料の一部を補助する。

平成23年度～平成27年度まで 18件

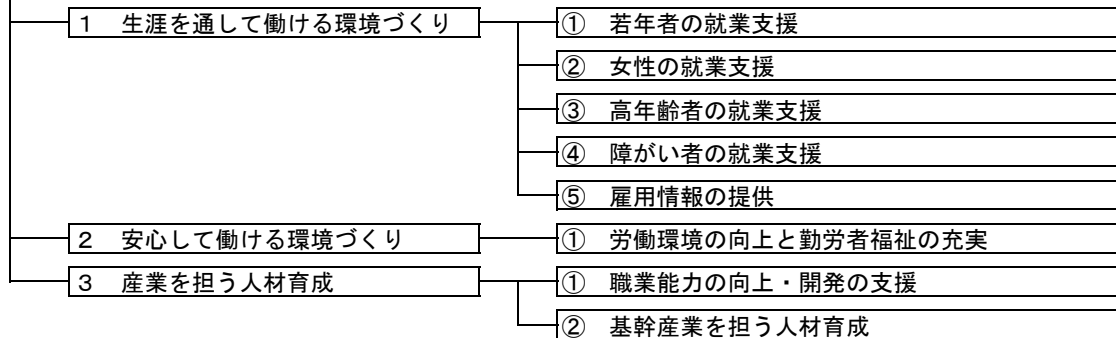
【商店街活性化支援事業補助金交付件数】

商店会等を対象に、商店街の賑わい創出に向けた事業に要する経費の一部を補助する。

平成25年度～平成27年度 10件

基本目標	第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	市民満足度（章単位）	満足・普通 65.1%	不満 28.3%
政策	第1節 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	市民ニーズ（政策）	3/18	
施策	IV 雇用と就業環境づくりの推進			
体系図				

IV 雇用と就業活動づくりの推進



【目標】

観光産業を軸に複合的産業基盤を形成し、雇用と就業の場をつくる。

市民満足度（施策単位）	市民ニーズ（章内）
満足・普通 51.4%	不満 46.3%
1/5	

●目標への接近度を計る指標

目標への接近度を計る指標等	単位	基準値H16	実績値H17	実績値H18	実績値H19	実績値H20	実績値H21	実績値H22	実績値H23	実績値H24	実績値H25	実績値H26	実績値H27	目標値H27
指標1 有効求人倍率	倍	0.56	0.65	0.77	0.82	0.46	0.47	0.60	0.63	0.68	0.92	0.92	1.02	0.80
指標2 事業所従業者数	人	18,389	15,553	15,553	16,513	16,513	16,513	16,706	-	13,882	-	15,228	-	20,000
指標3 新規高等学校卒業生管内就職率	%	62.8	87.8	94.4	96.6	97.7	90.7	98.2	99.5	99.6	99.6	100.00	98.8	90.0
指標4 高校生企業見学会・インターシップ実施人数	人	288	165	183	179	183	150	64	51	129	100	155	203	180
指標5 市内事業所における正規従業員の女性の割合	%	37.0	36.4	-	35.1	-	39.1	-	33.4	-	36.3	-	35.5	47.0

●目標到達に向けた取組及び成果

高校生を対象に企業見学会や就職応援講座等を実施するとともに、妊娠・出産により退職した女性や高齢者など様々な世代の就職支援を行った。また、キャリアカウンセラーを設置し、就職活動等で不安や悩みを抱える若年者等を支援するとともに、市内労働者への労働相談事業の実施などにより、安心して働ける環境づくりに努めたほか、産業を担う人材育成として職業訓練事業への助成やエコツーリズム、グリーンツーリズムなど新たな分野で活躍できる人材の育成を図った。

有効求人倍率や新規高等学校卒業生管内就職率が目標値を達成するなど着実に取組の成果が見られることから、今後も継続して雇用と就業の場づくりに努める。

●まちづくり意識調査からの分析

総体的には「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が、「不満」「やや不満」と回答した方の割合をやや上回っている。

性別では女性のほうが男性に比べ「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が高く、年代別では40歳代と50歳代で「不満」「やや不満」と回答した方の割合が過半数に達しているものの、全体では「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合は5割を超えており、過半数に達している。

●施策の基本的な方向

1 <生涯を通して働ける環境づくり>

●主要な施策

【① 若年者の就業支援】

3市（登別市、室蘭市、伊達市）合同で高校生を対象とした企業見学会・就職応援講座等を実施し、高校生の就職活動を支援するとともに、市内の高校を対象として実施する高校生のインターンシップ（就業体験）事業を支援した。
また、若年者等が自主的・積極的に就職活動ができるよう、カウンセリングを実施することにより、就職活動等で抱える不安や悩みなどの解消を図った。

【高校生のための就職支援事業】

平成27年度までの累計 47日 810人

【若年者等キャリアカウンセリング事業】

平成23年度から平成27年度まで 延べ面談件数 781件
就職決定者数 258人

【② 女性の就業支援】

結婚・出産・介護等により退職した女性が、再就職しやすい環境づくりを支援するため、再就職準備講座を開催した。

【再就職準備講座の実績】

主な開催内容

平成27年度まで 開催回数 14回
参加者数 242人

【③ 高齢者の就業支援】

高齢者や季節労働者等の安定した生活を目指し、就業機会の確保や通年雇用化に向けた就業支援を実施した。

【雇用対策救援事業】

平成27年度までの実績

公共施設清掃分 延べ人口 42,047人
冬季除雪分 延べ人口 11,453人

【④ 障がい者の就業支援】

障がい者が経済的に自立した生活を送ることができるよう、それぞれの能力に適合する職業への就業を支援するため、障がい者の就労に関する相談窓口を平成21年11月から開設している。

平成27年度の就労相談実績 3人

【⑤ 雇用情報の提供】

「登別市地域職業相談室（ジョブガイドのぼりべつ）」を設置し、ハローワークにおいての求人情報の提供や相談等を行い、ハローワークと連携し、きめ細かな雇用情報の提供に努めた。

【地域職業相談室運営】

平成27年度まで 延べ利用者数（平成19年度設置）149,034人



●施策の基本的な方向

2 <安心して働ける環境づくり>

●主要な施策

【① 労働環境の向上と勤労者福祉の充実】

勤労者の生活に必要な生活資金・教育資金をあっせんし、労働者の生活の安定と福祉の向上を図るとともに、労働問題を抱える労働者に適切な助言や指導を行うことにより、職場環境の改善や雇用の安定確保に寄与した。

【勤労者特別融資】

平成27年度まで 42件 32,720千円

●施策の基本的な方向

3<産業を担う人材育成>

●主要な施策

【① 職業能力の向上・開発の支援】

市内事業所で働く勤労者の技術の習得・向上を支援することにより、地域に根ざした職業人の育成が図られた。

【事業内職業訓練助成金】

訓練生の修了生数（平成18年度～平成27年度）75名



【② 基幹産業を担う人材育成】

東アジアからの観光客に対応できる人材やエコツーリズム（自然生態系を重視した観光）、グリーンツーリズム（農村との交流を楽しむ余暇活動）などの新たな分野で活躍出来る人材の育成を図った。

【地域雇用創造推進事業（新旧パッケージ事業）】

参加者 1,367人 雇用者 384人

基本目標	第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	市民満足度（章単位）	満足・普通 65.1%	不満 28.3%												
政策	第2節 自然を活かした産業の育成	市民ニーズ（政策）	15/18													
成果	札内高原館の運営による農産物の高付加価値化、登別海産直市による地産地消の推進、資源管理型の漁業の推進など時代に即した漁業生産の基盤づくりを行うなど、自然を活かした産業の育成を図った。															
施策	I 特色ある農業・漁業の推進															
体系図	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">I 特色ある農業・漁業の推進</td> </tr> <tr> <td>1 高付加価値農水産業の展開</td> <td>① 地場農水産物による加工研究開発の支援</td> </tr> <tr> <td>2 食の安全・安心の促進</td> <td>① 新鮮でクリーンな農水産物供給の推進 ② 地産地消の推進</td> </tr> <tr> <td>3 ゆとりある酪農・畜産経営の促進</td> <td>① 新規就農者、担い手農業者への支援 ② 畜産生産基盤の整備 ③ 家畜排せつ物の適正管理と有効利用</td> </tr> <tr> <td>4 都市生活者・他産業従事者との交流促進</td> <td>① グリーンツーリズム（農村との交流を楽しむ余暇活動）の推進 ② マリンツーリズム（漁村との交流を楽しむ余暇活動）の推進</td> </tr> <tr> <td>5 時代に即した漁業生産の基盤づくり</td> <td>① 資源管理型及び衛生管理型の漁業の推進 ② 漁業経営の改善 ③ 漁港の整備促進</td> </tr> </table>				I 特色ある農業・漁業の推進		1 高付加価値農水産業の展開	① 地場農水産物による加工研究開発の支援	2 食の安全・安心の促進	① 新鮮でクリーンな農水産物供給の推進 ② 地産地消の推進	3 ゆとりある酪農・畜産経営の促進	① 新規就農者、担い手農業者への支援 ② 畜産生産基盤の整備 ③ 家畜排せつ物の適正管理と有効利用	4 都市生活者・他産業従事者との交流促進	① グリーンツーリズム（農村との交流を楽しむ余暇活動）の推進 ② マリンツーリズム（漁村との交流を楽しむ余暇活動）の推進	5 時代に即した漁業生産の基盤づくり	① 資源管理型及び衛生管理型の漁業の推進 ② 漁業経営の改善 ③ 漁港の整備促進
I 特色ある農業・漁業の推進																
1 高付加価値農水産業の展開	① 地場農水産物による加工研究開発の支援															
2 食の安全・安心の促進	① 新鮮でクリーンな農水産物供給の推進 ② 地産地消の推進															
3 ゆとりある酪農・畜産経営の促進	① 新規就農者、担い手農業者への支援 ② 畜産生産基盤の整備 ③ 家畜排せつ物の適正管理と有効利用															
4 都市生活者・他産業従事者との交流促進	① グリーンツーリズム（農村との交流を楽しむ余暇活動）の推進 ② マリンツーリズム（漁村との交流を楽しむ余暇活動）の推進															
5 時代に即した漁業生産の基盤づくり	① 資源管理型及び衛生管理型の漁業の推進 ② 漁業経営の改善 ③ 漁港の整備促進															

【目標】

観光産業と連携した特色ある農業・漁業を推進する。

市民満足度（施策単位）	市民ニーズ（章内）
満足・普通 73.2%	不満 24.0%
5/5	

●目標への接近度を計る指標

目標への接近度を計る指標等	単位	基準値H16	実績値H17	実績値H18	実績値H19	実績値H20	実績値H21	実績値H22	実績値H23	実績値H24	実績値H25	実績値H26	実績値H27	目標値H27
指標1 肉用牛等飼養数	頭	1,683	2,101	2,381	2,433	2,512	2,625	2,447	2,454	2,567	2,564	2,490	2,343	2,256
指標2 ほ場整備面積	ha	328.1	343.8	364.2	395.9	395.9	395.9	395.9	395.9	395.9	395.9	395.9	395.9	583.0
指標3 登別漁港水揚量	t	9,792	13,314	15,361	18,126	10,679	15,745	12,285	13,611	10,666	13,870	13,214	12,236	15,000
指標4 登別漁港係船岸壁充足率	%	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	36.0	36.0	36.0	36.0	47.0
指標5 農村地区の水洗化率	%	4.5	5.9	10.1	15.5	16.2	17.6	17.9	33.1	33.1	33.1	33.1	33.1	34.0

●目標到達に向けた取組及び成果

札内高原館の運営による農産物の高付加価値化、登別海産直市による地産地消の推進、有害鳥獣の駆除や酪農ヘルパー制度などによるゆとりある酪農・畜産経営の促進、グリーンツーリズムの推進による都市生活者との交流促進、資源管理型の漁業の推進など時代に即した漁業生産の基盤づくりを行った。
肉用牛等飼養数が目標値を達成しているほか、その他の指標においても目標値には到達していないものの、基準値を上回っている。

●まちづくり意識調査からの分析

総体的には「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が、「不満」「やや不満」と回答した方の割合を上回っている。
性別では女性のほうが男性に比べ「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合が高く、年代別ではどの年代でも「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合は約7～8割であり、多くの方が概ね満足していると考えられる。

●施策の基本的な方向

1 <高付加価値農水産業の展開>

●主要な施策

【① 地場農水産物による加工研究開発の支援】

地元企業に札内高原館の製造施設等を貸付し、地元の生乳から牛乳等の乳製品が製造されている。

【生乳からの主な加工製品】

・牛乳、アイスクリーム、プリン、チーズ

●施策の基本的な方向

2 <食の安全・安心の促進>

●主要な施策

【① 新鮮でクリーンな農水産物供給の推進】

乳牛能力検定事業及び乳房炎防除対策に対して支援を行い、乳牛群の改良による乳質の改善及び生産乳量の向上を図った。

【1頭当たりの1年間の生産乳量】

8, 559kg

【② 地産地消の推進】

西いぶり食の魅力向上研究会により西いぶりDEトークライブの開催や地産地消普及啓発ビデオを作成、西いぶりうまいもん試食会の開催、西いぶり加工品の販促によるマーケティング調査、地元FMを活用した地産地消普及啓発活動など事業を行った。市の取り組みとして、市内の宿泊施設等に対し登別牛のPRを行った。また、市内小中学校の給食にのぼりべつ牛乳を採用した。



●施策の基本的な方向

3 <ゆとりある酪農・畜産経営の促進>

●主要な施策

【① 新規就農者、担い手農業者への支援】

飼養している黒毛和種繁殖雌牛に優良血統の受精卵移植や雌牛判別精液を利用した搾乳牛後続雌牛の確保、酪農ヘルパーによる定期的な休日を確保することにより担い手農業者への取組を支援し、ゆとりある畜産経営の推進と労働軽減を図った。

また、新規就農者に対し給付金を支給することにより、就農直後の所得を確保し経営の安定化を図った。

【酪農ヘルパー利用件数】

平成27年度まで 1, 512件

【② 畜産生産基盤の整備】

認定農業者に対して、農業経営基盤強化資金に係る利子の一部を助成した。また、土地改良事業（道営農免農道整備事業）のうち農業者の受益者負担分の補助を行うことにより、経済的負担の軽減による経営の安定化と畜産施設整備への投資を促すとともに、農道の整備を図った。

また、草地整備を計画的に進め良質粗飼料の確保と飼料自給率の向上を図った。

【農業経営基盤強化資金利用実績】

平成27年度まで 1件 14, 950千円

【③ 家畜排せつ物の適正管理と有効利用】

各農場に家畜排せつ物処理施設が整備され、堆肥化された家畜糞尿は、農地に還元されている。

【堆肥化施設】堆肥舎、尿溜

【堆肥運搬車】マニアスプレッター、バキュームカー、ホイールローダー

●施策の基本的な方向

4 <都市生活者・他産業従事者との交流促進>

●主要な施策

【① グリーンツーリズム（農村との交流を楽しむ余暇活動）の推進】

2戸の農業者が乗馬体験等を、1戸の農業法人が農畜産物の加工体験を行い、都市と農村の交流が図られている。

【加工体験】バターづくり、アイスクリームづくり

【② マリンツーリズム（漁村との交流を楽しむ余暇活動）の推進】

登別漁港まつりにおいて、いぶり中央漁業協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やPRのため実施している「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助するなど、マリンツーリズムの推進を図った。

【登別漁港まつり参加者のべ数】

平成27年度まで 約30万人



●施策の基本的な方向

5 <時代に即した漁業生産の基盤づくり>

●主要な施策

【① 資源管理型及び衛生管理型の漁業の推進】

ホッキ貝等の資源管理をはじめ、ホッキ空貝の焼却処分によるホッキ漁場の環境改善、ウニの資源管理と増殖、ハタハタ漁場の活用、マツカワ稚魚の放流、エゾアワビの試験放流など、時代に即した漁業生産基盤づくりに努めた。

【ホッキ空貝処分事業】

平成27年度まで 空貝焼却処理量 約139トン



【② 漁業経営の改善】

漁業資本整備資金を融資した金融機関に対して、借入金利子を最大1%まで補給することにより、漁業資本の近代化を図る漁業者等の経済的負担を軽減し、漁業経営の改善に努めた。

【漁業近代化資金利子補給額】

平成27年度まで 5,706千円



【③ 漁港の整備促進】

いぶり中央漁業協同組合に対して、登別漁港・鷺別漁港の軽易な維持管理に要する費用や港内照明灯電気料の一部を補助するなど、漁港の整備促進に努めた。

